

69 マキシジコミミ

(オカミミガイ科)

兵庫県ランク:A

Laemodonta monilifera

環境省ランク:NT

種の概要

房総半島から琉球列島に分布。主に外洋に面した海岸や湾内の潮間帯上部の転石下に生息する。殻長6mm、殻径4mm前後の卵円形。殻質は堅固で、各螺層は上面が平坦なレーン状の規則的な螺肋がある。針状の殻皮毛をまばらに有する個体が多い。外唇縁の直前は厚く肥厚し、殻底に至る。外唇内方と内唇に各2歯と、1軸歯を有する。殻表面は光沢なく、淡い黄褐色で、体層中程より下はやや濃色となる。

主要な選定理由

人為性			生息環境の特殊性		学術性		
個体数激減	分布域に影響	営利目的捕獲	特殊生息環境	地域的孤立	分布が極限	分布の限界	希少
			○	○	△		○

県内分布

洲本市

県内における生息状況及びその他特記事項

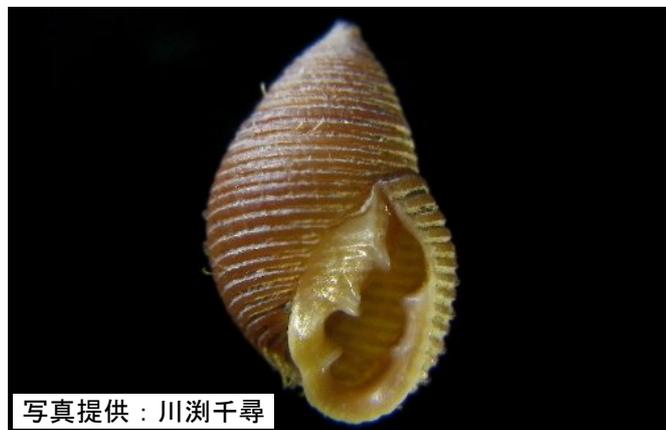
新規追加種。2011年に淡路島中部の内湾干潟潮上帯で、比較的大きな石が積み重なった半ば埋もれた石の下よりウスコミミ(貝類Aランク)とともに生貝1個体が得られた。現在までこの1個体しか確認されていないことから偶発的なものと考えられるが、今後の調査でさらなる産地が見つかる可能性は高い。

保護上の留意点

淡路島中部においては、未確認。海岸を含めて、転石のある海岸を保護し、コンクリート護岸等にしないよう配慮する。



写真提供：川淵千尋



写真提供：川淵千尋

【執筆者】 川淵千尋